

奈良市食育つながるネット連絡会議

開催日	平成29年4月14日（金） 13:30～14:40
場所	はぐくみセンター 3階 大会議室
会議名	奈良市食育つながるネット連絡会議
参加者	16名
内容	<p>○あいさつ 医療政策課長 杉本 宜弘</p> <p>2月13日に実施した奈良市食育推進会議を受け、今後の体制づくりの在り方を検討することを目的として開催する。</p> <p>○これまでの取組みについて ＜事務局の説明に対する質問＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の食育ネットワークについて、2月の食育推進会議で意見は何か →（事務局） ・定期的に顔をあわせて会議をもつなど定期的に集まる必要がある。参加していただけますというだけでは活動が活発にならない。 ・市が方向性を示し、団体としては「ネットワークに何を期待するか（何がしたいのか）」、「何ができるか」を両方だしあう必要がある。 ・行政予算や人員が減るなか、最後に行政の役割として残るのは調整である。そこを担ってほしい。 <p>○今後の食育ネットの方向性及び体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的を何にするかによると思われる。事務局としての方向性の案があるか。 →（事務局）本年度、組織改正により健康医療部保健所となり、医療政策課として「健康」と「医療」を論点として、具体的数値や成果目標をもって次期食育推進計画の策定も見据え取り組みたいと考えている。たとえば、生活習慣病予防と食事など具体的論点が、食育ネットや推進会議で議論できればいいと考えている。そのための必要な健康・医療データは提供・協力する用意がある。 ・友の会は、会の中で様々なグループごとに集まり協議している。NEW（地域協議会ならエコの和）にも所属し、環境に関する活発な意見交換や取組みがなされている。 ・JAは全国組織であり、全国で統一した取組みの他に地域で特色のある企画も行われている。規模が大きいためか、他団体との取組みがあまりないのも事実。行政より提案をもらえると動けるところもある。 <p>＜ネットワーク運営について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前意見にあったように、定期的に会議をもつというのがよい。 ・これまでつくってきたゆるいつながりを大切に、核となるプロジェクトを実施するためにコアメンバーを募るというのもよいのではないかと。 ・実際に運営となると、役員にでてきてもらう必要がある。人数は内容によるが、はじめ

	<p>は事務局で選んでもらう必要もあるかと思う。その後は順にふっていくとよいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのメーリングリストは維持しつつ、ツイッターやフェイスブックなど新たなツールの導入も検討できないか。 <ul style="list-style-type: none"> …ヘルスチーム菜良としては、ツイッターが馴染みがある。フェイスブックは定まった会員に限定されることもあり、広がりには難しいのでは。 ・市食育推進計画に挙げている6つの目標で分けると分かりやすいのでは。 <ul style="list-style-type: none"> →（事務局）6つの目標も大切であるし、今後新たに社会情勢等により目標を変えていく可能性もあるのでその分も考慮する必要がある。 ・奈良市生涯学習財団では、各公民館の取組みを集約しており、企画については地域の特性に応じて各公民館が企画している。 <ul style="list-style-type: none"> 公民館によっては高齢者学級があり、例えば富雄南公民館では、50人程度の高齢者学級がある。 ・栄養士会として、福祉部及び地域包括支援センターと関わる内容もあるが、保健所と福祉部は情報共有されていない。行政の横のつながりが欠けているのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> →（事務局）高齢者施策における食や栄養は、重要なテーマであるが、連携が中々進んでいないことは事実。次期食育推進計画の見直しもふまえ、福祉部門との連携は喫緊の課題として行政として検討したい。 ・栄養士会は地域に密着した活動を担当している栄養士がおり、要望に応じて対応が可能。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・説明資料 ・参加者名簿 ・資料「すみだ食育 good ネット 6つのゆめ」 ・奈良市地球温暖化対策地域協議会 通称「ならエコ・エコ」